

## 巻頭言 「コロナ感染下の医療を経験して」

日本大学名誉教授 大道 久

新型コロナウイルスの終息を見通せないまま、2年目を迎えている。この間、社会は激変し、医療は感染を受け止める当事者として、未曾有の経験をした。感染拡大が一進一退して、数回にわたって緊急事態宣言が発せられた。医療においては患者の受診控えが顕著になり、一部の手術・検査は先送りを余儀なくされた。感染拡大が進んで、当初は外来患者が3割減、病床利用も1割減と、前代未聞の非常事態も経験された。その後は、回復基調にあるものの、なお平常に復する見通しは立っていない。

総合的な経済対策として、「緊急包括支援交付金」が広範に給付され、診療報酬上の種々の特例措置も行われて、重点医療機関等の病床確保が図られている。しかし、このような相当規模の緊急的経済対策が講じられても、現下の医療現場の困難の緩和には、決して十分とは受け止められていない。財政的支援策ではどうにもならない問題があることが痛感されているからである。

重症患者が増加基調にある中で、一般病床への感染患者の受け入れは、決して容易ではない。感染症を想定していない構造・設備の改変は、時間と費用の観点からも負担が重く、受け入れを躊躇せざるを得ない。今後は、転用が可能なように、予め感染管理に十分配慮した動線や空間設計にしておく必要がある。平時から相当規模の感染症病床を空床のまま抱えることは現実的でなく、非常時に柔軟でレジリエンス(適応力・復元力)のある対応が可能な体制の整備が強く期待される。また、震災時等の場合と同様に、パンデミック時のBCP(事業継続計画)も必要であろう。

感染拡大時に病床確保の要請があった場合、いくら空床が確保されていても、人材が投入可能で、チームとして機能しなければ、患者の受け入れはできない。臨機にチームを編成して業務を遂行するには、明確な方針と強い指導力が必要である。厳しい感染管理下の業務は過酷であり、あらぬ風評被害にも耐えなければならない現状は、かつて経験しなかったことである。

コロナ患者受入れの役割がなかったとしても、一般患者や職員を介したクラスター発生のリスクは避け難く、ひとたびそれが発生すれば一定期間の病棟閉鎖や、患者受け入れ休止を余儀なくされる。その間の診療機能低下に伴う患者や周辺地域に及ぼす影響は甚大で、経営的にも深刻なダメージを受ける。

病院には、このような環境の激変に直面しても、強靱に適応して損失を最小限に食い止め、組織力の維持を可能にする有効な方策が求められる。専門領域が分立したままの病院組織では、臨機の部門編成や組織力の結集が不十分になる。管理者によるガバナンスの強化に加えて、各科・各部門の診療機能や業務内容を、現場感覚で把握している統括マネジャーの役割を担う役職が必要である。

専門分化は、医療の高度化に必須であるが、今回のような未知の感染症への対応や、複数病棟間での感染回避等において、分化しているがための弱点を突かれた感を否めない。窮状が続く中で、統合的観点から今後の対応を考えたい。BSCの管理手法は、このような観点からも十分に有効であることが期待できるので、今後の取り組みに期待する。

## 1. 臨時社員総会報告

---

### 社員総会報告

第6回社員総会が2020年10月17日(土)にオンライン形式で開催されました。社員総会では、「学会誌のJ-STAGE移行」「令和3年度のもの学術総会について」「各種研修会について」「学会誌18巻1号について」の4つの議題について議論が行われました。各議題に関する議論の内容は以下の通りです。

#### ①学会誌のJ-STAGE移行

令和2年度の学術総会が中止になったため、学術総会拠出金として予定していた70万円を、学会誌のJ-STAGE移行の予算に組みかえできないかとの提案があり、学術総会拠出金70万円を学会誌発行の電子化新規分に40万円、その他の予備費に30万円、それぞれ振り分けることについて全員一致で承認されました。J-STAGE化については佐藤理事から説明があり、公開は2021年度になる予定であること、公開範囲は資料を除く論文として、公開についてはホームページやニューズレターなどで事前に会員へ通達することなどの説明が行われました。

#### ②令和3年度のもの学術総会について

赤瀬理事より、令和3年度の学術総会の開催時期は9月下旬から10月上旬を予定しており、開催方法や参加費等の詳細については令和3年4月段階で決定する旨報告が行われました。

#### ③各種研修会について

赤瀬理事より、令和3年度は各種研修会が実施できるよう、対面形式での実施方法に加え、オンライン開催(オンラインホワイトボードシステムの活用)などについても検討中である旨報告が行われました。

#### ④学会誌18巻1号について

これまでの学会誌は、学術総会の内容を掲載するのが通例でありましたが、今年度は学術総会が中止のため、従来と異なった対応が必要である旨、佐藤理事より説明がありました。学術誌の発行に向け様々な意見が出され、今後発行に向けた意見集約を行う事となりました。

## 2. 理事会報告

---

### 第4回理事会報告

2020年6月20日(土)に第4回理事会がZoom会議にて開催された。審議事項は、理事長選出についてであり、高橋淑郎理事を理事長に推薦するという提案があり、満場一致で承認可決した。

### 臨時理事会(みなし理事会)報告

2020年10月5日、高橋淑郎代表理事より、理事の全員に対して、「2020年度補正予算に関する件」と「臨時社員総会開催に関する件」について提案書を発し、当該提案につき、2020年10月16日、理事及び監事の全員から同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

### 第5回理事会報告

2021年3月18日(木)に第5回理事会がZoom会議にて開催された。本理事会では、2021年度の事業計画・予算承認について協議がなされた。2020年度は導入ワークショップ等の活動ができず、また持続化給付金200万円の申請がおりたため、前年度繰越金は例年より多くなっている。2021年度は導入ワークショップを年1回開催予定のため予算を33万円とし、学会誌の電子化新規分は今年度補正予算を組んだため20万円と少なくなっている。

また、第18回学術総会について、2021年9月25日(土)完全オンラインにて開催することが報告された。構成内容は大会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム・一般演題・特別セミナーを予定しており、懇親会は開催しない。協賛企業についてはオンライン開催のため、抄録の広告のみ協賛を募集する。抄録は紙媒体で作成し、チラシは配布する機会がないため電子媒体として、関係者や会員へ配布する。参加費については実行委員会に一任することになった。

### 3. 今年度の予定

---

一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会  
2021年度 学術総会、HBSC導入ワークショップ、HBSC認定指導者研修会  
日程のご案内

本日程は、新型コロナの感染状況によって変化する場合がありますので、学会事務局にご確認くださいようお願い申し上げます。

尚、本年度は、HBSCフォーラムおよび基礎理論講座は、中止いたします。

#### 【学術総会】

第18回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会

9月25日(土)(オンライン開催)

- テーマ: 地域共生社会における協働・連携とBSC
- 学術総会長講演: 「地域共生社会における医療」 赤瀬朋秀(日本経済大学教授)
- シンポジウム(医療チームにおけるBSCの活用をテーマに演者選定中)
- 教育講演 「HBSCの誕生・発展・成果  
一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会の20年の軌跡」(仮)  
高橋淑郎(日本大学商学部特任教授/一般社団法人日本医療バラン スト・スコア  
カード研究学会理事長)
- 特別講演 : 「外科医、薬局に帰る」(仮)  
狭間研至(ファルメディコ株式会社代表取締役社長/一般社団法人  
日本在宅薬学会理事長)
- 特別セミナー(企業協賛): 「急性期病院におけるSkill Mix型チーム医療」(仮)  
谷口英喜(済生会横浜市東部病院患者支援センター長)
- 一般演題

研修委員会 所管

【HBSC導入ワークショップ】

10月16日(土)、17日(日)

土曜日 13:00開始 18:00終了

日曜日 9:00開始 16:00終了 予定

日曜日は、16:00終了予定ですが、進捗によって、終了時間が延長される場合もありますので、若干遅めの飛行機や列車をご予定ください。

・原則として対面を予定していますが、新型コロナの状況によっては、オンラインホワイトボードシステムなどを使用して実施する可能性もあります。

・会場は、渋谷駅近くを予定していますが、東京駅、新宿駅近くに変更する場合があります。8月には詳細を決定いたします。

・会場は、広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

認定指導者試験委員会 所管 <<HBSC実践指導者研修会>>

①理論編研修会

7月31日(土) 10:00開始 16:00終了 予定

・会場は、新宿駅近くあるいはJR市ヶ谷駅近くを予定しています。

・会場は、広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

②BSC実務編研修会

10月16日(土)、17日(日)

(HBSC導入ワークショップと同時開催)

土曜日 13:00開始 18:00終了

日曜日 9:00開始 16:00終了 予定

・16:00終了予定ですが、進捗によって、終了時間が延長される場合もありますので、若干遅めの飛行機や列車をご予定ください。

・原則として対面で行う予定ですが、新型コロナの状況によっては、オンラインホワイトボードシステムなどを使用して実施する可能性もあります。

・会場は、広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

③BSC実践指導者認定試験

12月5日(日)

10:10から11:00 理論試験。

11:20から16:00 実技試験 予定しています。

・会場は、渋谷駅近くを予定しています。広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

日程や時間に変更等がありましたら、ホームページ上にてお知らせいたします。

# 第18回日本医療バランスト・スコアカード研究学会 学術総会 開催のお知らせ

日本経済大学大学院 経営学研究科 教授  
赤瀬朋秀

ニューズレターの誌面をお借りして、本年9月25日に開催する第18回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会について、会員の皆様にご報告申し上げます。

さて、昨年10月に予定しておりました第18回学術総会を1年間延期させていただき、その間、開催の可能性について検討を重ねてまいりました。本年は“絶対に開催する”という決意のもとに熟考を重ね、結果、完全オンラインという形で、令和3年9月25日(土)に、東京渋谷に位置する日本経済大学を配信の拠点として開催することにいたしました。ここに改めて、会員の皆様に対し、学術総会のご案内をさせていただきます。

まずは、学術総会の概要につきまして、一部ご案内をさせていただきます。今回は、オンライン開催の利点を活かし、会場費などの費用を大幅に削減できておりますことから、会員の皆様の参加費は無料とさせていただきたいと思っております(抄録は紙媒体の冊子として販売をさせていただきます)。この機会に、バランスト・スコアカードに関心のある多くの医療従事者、大学関係者、企業の皆様にご入会、ご参加いただくことを期待しております。

プログラムは、教育講演、特別講演、特別セミナー、シンポジウムなどを企画しており、すでに講演をご内諾いただいている先生方におかれましては、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。その他にも、スポンサーードセミナー、特別セミナーに関しても、鋭意準備を進めている所です。一般演題につきましては、募集の要項などが決まり次第、当学術総会ホームページでご案内をさせていただきます。

出口が見えない中、会員の皆様におかれましては、慌ただしい日常をお送りと存じますが、実行委員会一同、一丸となって準備を進めてまいりますので、引き続きましての御支援、ご協力をお願い申し上げます。新型コロナウイルスの災禍が1日も早く収束いたしますことを願いつつ、第18回学術総会開催に向け、ご報告をさせていただきます。